

市民要望については総合的に対応してほしい

1. FM局について=予特で府中市のコミュニティFM局であるラジオフューズが国分寺までエリアを拡大するという話があったが、その後どうなったか?⇒総務省に確認したら放送エリアの拡大は難しいと言われた。今後は独自のFM局開設も難しいので、スマホアプリを活用してインターネット経由の方法を、防災時は活用できない可能性はあるが検討していきたい。

2.都市計画公園「戸倉公園」について=最初のスタート時点から市民参加をして両者でたたき台、コンセプト案を作っていたきたい。

3.おくやみコーナーについて=家族が亡くなった時の手続きがワンストップで出来るようにし

ていただきたい。⇒現状ではスペースが確保できないのでできない。新庁舎で検討していく。

○おくやみハンドブックを製作費をかけずに作っている自治体があるので当市でも作ってほしい⇒現在のものは改善する予定。

4.西国分寺駅南口入り口のパチンコ店跡地について=道路拡幅の件はどうなっているのか?⇒補正予算の議決を得て今は測量をしている。進捗があれば所管の委員会に報告する。

5.国分寺消防署の建設について=スケジュールについて教えて欲しい。⇒一年遅れで令和2年10月に工事着工して令和4年11月末に完成する予定。○国分寺消防署のホームページに工事の

立憲・市民フォーラム
及川 妙子



ことが何も載っていないので情報提供を。

6.都知事との懇談について=①国史跡指定100周年②共生社会③西東京警察病院跡地の効果的活用についてドッグランを含めた公園・緑地の整備と介護老人保健施設の設置を要望した。

7.ガードレールについて=長いガードレールの真中に床屋さんがあり高齢者がタクシーで来るので間をあけてほしいという要望があった。すぐそばに50cm空いているガードレールがある。市はあけられないと言うので車椅子をガードレールの端から使ったらいかがかと提案中。

一人ひとりに寄り添った支援を！！

◆プラスチック削減の取組。問) 庁舎自動販売機のペットボトル削減の状況は。市) ペットボトル飲料を取り扱わない自動販売機は全33台中8台。問) マイボトル利用の給水スポットの設置を。市) できるところから研究。問) 市のイベント時配布のクリアファイルは便利だが本当に必要か。市) 改善の余地があり、対応を考える。

◆不登校児童・生徒の支援。問) 現状は。市) 令和2年度、令和元年度と比較では減少。1人1台タブレット端末で授業の配信や放課後対応の学校もある。本人、保護者と丁寧に相談し支援方法を検討。問) 学校以外の学びの場は。市) フリースクール等校長が認める場合、出席

の扱いとする。意見) 今後とも体制を強化しての取組を望む。

◆発達障害児の支援。問) 子どもの発達センターつくしんぼでの相談の状況は。市) 初回相談件数が増加。発達に特徴のある児童も増加傾向。問) 親への支援や関係機関や学校連携は。市) 保健センターでの各種検診は、子どもの発育や発達状況等医師や保健師が丁寧に確認し親への気持ちに寄り添い対応。つくしんぼでは、平成19年度から発達障害の理解、特別支援教育連携関係職員研修や情報発信、市民講演会も実施。学校連携は、就学支援シートを活用しての引継ぎや引継ぎ会等実施。問) 令和6年度設置の児童発達支援センター進捗状況は。

立憲・市民フォーラム
はせば 豊子



市) 不足のサービス、課題整理、市民のニーズの把握等、検討中。意見) 課題を整理し早期に実現できるよう要望。

◆西恋ヶ窪四丁目用地。問) 暫定恋ヶ窪公民館建設の現状は。市) 教育委員会では、教育施設として恋ヶ窪公民館の暫定的な施設の活用を希望する。現在は公用車の駐車場で、協議は当面保留。

◆現庁舎跡地の公共施設建設について。問) 丁寧な市民参加の場を。市) 来年度、基本計画策定。改めて市民の方の多くの意見を取り入れ、公共施設のコンセプト、市民の意見を聞ける場を設け進めたい。

機能集中から分散型！トイレ利用の多様性を

◆新年度予算編成方針の具体的取り組みとは。皆) 「コロナ禍の影響により…生活不安等社会問題の原因。共生社会の実現に向けた施策を丁寧に講ずる」とあり「丁寧に」は大事。具体策は? 答) 紹介できる段階ではない。国の経済対策子育て世帯への臨時特例給付等が想定される。

◆成年後見制度について。皆) 市の要綱では法人後見実施機関の委託先が1法人のみ。委託や助成を他の民間団体にも適用拡大を。答) 現段階では難しい。現行の取組みを充実推進させる。

◆自殺対策、ゲートキーパー研修について。皆) この数年は市職員のみでの研修だ。地域福祉の活動を担う市民にも対象を広げ、オンライン

研修も実施せよ。答) 職員と相談に関わる職種の方にも研修を拡大し、オンラインも検討する。

◆無意識の偏見、知らなかった、思い込みによる等で人権侵害をしないよう研修実施は重要。皆) 市では、男女平等推進行動計画に基づきWLB・キャリアデザイン・ハラスメント(一般職員と管理職務向け)の職員研修が行われている。一年前に開始した市のパートナーシップ制度、LGBTQに関する研修は所管課の人権平和課だけではなく、職員課と共催し取り組むように。答) 重点課題研修は計画に則し、人権研修は職員課も連携、協力体制により実施していきたい。

◆バリアフリー新法では機能分散型トイレが推

立憲・市民フォーラム
皆川 りうこ



奨されている。皆) 異性介護者、トランスジェンダー等の配慮。トイレの多様性のため機能分散型の検討状況は? 答) 最先端の考え方や事例を踏まえ、様々なトイレ機能の分散化等を検討していく。図面の表記も「バリアフリートイレ」に変更した。実施設計において提示したい。

◆公民館5館構想で新たな時代の地域の独自性を。皆) 今や職員が「オシエソダテル」時代ではない。市民との信頼関係で作る活動推進を。答) 60年の歴史で学びにより地域作りを実現した。今後も地域性、独自性のある事業を考える。

新技術・サービス・アイデアで市民利益実現

デジタルトランスフォーメーション(DX)推進
丸山) 当市ホームページは内容充実の反面、分量が多く探しづらい。これを解消し市民の利便性を高め、行政の事務効率化も図るためにチャットボット(AIを活用した自動会話プログラム)を導入してはどうか。市の見解を問う。
政策部長) 導入に向けて検討して参りたい。
電子図書サービス導入について
丸山) 昨年来、私から提案している電子図書導入につき図書館運営協議会からの答申は如何。
教育部長) 電子図書機能導入が答申された。
丸山) 市の今後の対応は。導入を強く求める。
教育部長) 段階的導入を含め検討して参りたい。

学校施設のあり方について
丸山) 本年、法律改正で35人学級推進が決定した。この改正による当市への影響は如何か。
教育部長) 直近推計では令和7年度小学校10校中7校で普通教室が不足する見込みである。
丸山) 敷地面積等の制約からも既存の発想で増築し続けることは限界がある。ここで一部機能・施設の外出し、具体的にはプールについて民間活用の可能性はないか市の認識を問う。
教育部長) 他自治体で水泳指導で民間施設活用事例があること認識。民間活用のメリットは施設維持管理の費用低減、指導・水質管理等に関わる教員の負担軽減、子供が専門性の高い指導

自由民主党市議団
丸山 哲平



を受け泳力向上を図れること等が考えられる。
丸山) 子供達によい環境と充実した教育を受けてもらうためにも前例にとらわれず発想を変える時期ではないか。ロジスティクス、安全管理や活用可能企業の有無、保護者の理解等課題も多くあるが、教育・コスト両面からメリットありと考える。検討を進めてもらいたい。
教育部長) 議員からの提案を受け止め今後しっかりと研究検討を進めて参りたい。
その他: ぶんバス、ポストコロナにおける歳入歳出構造変化、自治会・町内会等につき質問。